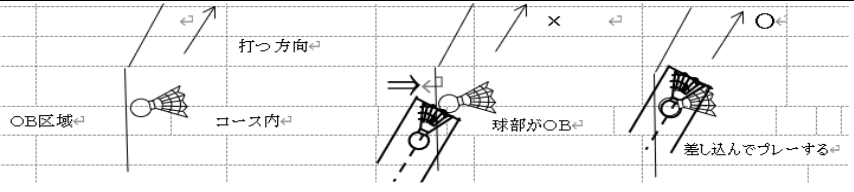
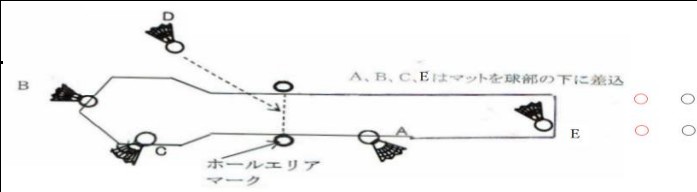


東京都TBG協会 競技規則 主な改正箇所

令和3年4月1日 改正案

区分	都規則ページ		平成29年4月1日規則	令和3年4月1日改正(案)	
コース	P4		コース	ティーイングエリアは台地状(3m四方)もしくは、周りのフェアウエイと区画線、柵等ではっきり区別し、ティーマークを設置する	ティーショットの失敗により、ボールがティーイングエリア上に残ったりフェアウエイに届かなかった場合、ティーショットをやり直すときは 1打罰。確認
競技方法	P6	(3)	進め方	⑨OB、池等の境界線上のマット使用に際し、セットしたボールがプレー禁止区域となる場合は、ホールに近づかない元の位置に出来るだけ近いコース内(ニアレストポイント)に移動してプレーする	⑨フェアウエイ、池等の境界線上のマット使用に際し、セットしたボールがプレー禁止区域となる場合は、 マットをボールの下に差し込んでプレーする(多少ホールに近づいてもよい)。
規則	P7	(1)	ストローク	③プレーヤーのクラブが、1ストローク中に2回以上ボールに当たったとき(2度打ち)は、そのストロークが1打、そして 1罰打 が与えられ合計2打として数える。	2度打ちは無罰 とする。プレーヤー自身の打ったボールが身体もしくは自分の持ち物にボールが当たっても無罰打とする。
		2)	バンカー	バンカーの砂にクラブヘッドが触れたら 1罰打 。	バンカーの砂にクラブが触れても 無罰打 だがヘッドを砂に触れない様に。バンカー内の石、木くず、枯葉、(落葉)等は取り除くことができる。
	P9	⑤	プレース	ボールがOBラインに接した場合、プレースによりボールがOBライン外になるときは、……(ニアレストポイント)に移動してプレーする	⑤フェアウエイ及びアドバンテージホール内でボールがコースラインに近く又は球部が接している場合、プレースによりボールの球部がコースラインの外になるときは、マットをボールの下に差し込んでプレースできる(多少ホールに近づいてもよい)。 差し込方式を採用
					
P11	(10)	誤球と誤記	②誤球したプレーヤーは、誤球のままプレーをし、ホールアウト後に2罰打を加えること。但し誤球されたプレーヤーが気が付けば自分のボールで 同伴競技者の了解を受けて 自分のボールがあった地点にボールを戻してプレーを続ける。(無罰打) ④提出されたスコアの誤記は、プレーヤー本人とアテストした者を 失格 とする。	②誤球したプレーヤーは、誤球のままプレーをし、ホールアウト後に2罰打を加えること。但し誤球されたプレーヤーが気が付けば自分のボールで自分のボールがあった地点にボールを戻してプレーを続ける。(無罰打) ④提出されたスコアの誤記は、プレーヤー本人に 2罰打を加える。(失格を無くした)	
	11)	ホールの間違い	定められたホール順にプレーをしない場合は 失格 とする。(ショットした本人のみ)	定められたホール順にプレーをしない場合は 2罰打 とする。(ショットした本人のみ)	
罰打一覧	P12	12)	押し出し、かき寄せ、すくい上げ	1. ボールを押し出したり、かき寄せたり、すくい上げたとき。は 2罰打 とする。	1. ボールを押し出したり、かき寄せたり、すくい上げたとき。は 2罰打 とする。 変更なし。